



呉高専、九州工大と連携

次世代AIデバイス研究

【広島】呉工業高等専門学校（黒木 高専）と九州工業大学（田中 九州工大）が、次世代AIデバイス研究を目的に、包括連携協定を締結した。調印式は、10月14日（金）午後2時、黒木 高専の講堂で行われた。

黒木 高専の黒木 高専長と、九州工大の田中 九州工大長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。黒木 高専長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。黒木 高専長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。

黒木 高専長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。黒木 高専長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。黒木 高専長は、調印式で、両校の包括連携協定を締結した。

ハードウェア研究センター（北九州市若松区、田中啓文センター）と包括連携協定を締結した。現在の人工知能（AI）のベースであるソフトウェアを、金属や半導体などを材料とするハードウェアに置き換え、消費電力を抑えた次世代AIデバイスの研究開発で協力していく。

呉高専の黒木センター長は「今後、AIは不可欠な存在になる。連携による先生への指導や学生へのインターンシップ（就業体験）などを通じ、AI技術力を向上させていきたい」とあいさつした。

九州工大の田中センター長は「AIのベースをソフトからハードに置き換える研究分野は新しく研究者が少ない。呉高専の先生や学生との共同研究を通じて研究人口を増やし、同分野を活性化したい」と意気込んだ。